

2011年度後期

知の市場(シラバス)

新規

科目No.	UT561	科目名	マネジメントシステム論				副題	変化に対応するための企業経営とマネジメントシステムのあり方			
連携機関名	UL University (UL Japan)	レベル	基礎	教室定員	20	配信定員	0	講義日時	月曜日 18:00 ~ 20:00 11月17日、24日は木曜日	講義場所	丸の内トラストタワー本館6F
科目概要(300字)	<p>企業活動のグローバル化に伴い、海外に製造拠点、事業所をもつ企業が多くなってきており、海外との関係が変化している。また、同時に日本企業においても海外からの人材受入を増やすところが多くなり、企業内部でもグローバル化が進んでいる。このような状況から、これまで培われた職人流儀の日本型経営が転換期を迎える時期に来ている。企業における社会的責任や企業内での指揮命令系統、情報セキュリティ等の管理、マネジメントの重要性が増している。このような背景をもとに、国際標準であるISO規格を含めて、企業経営とマネジメントシステムの関係について、事例を用いて解説するとともに議論を行う。</p>										

科目構成	No.	講義名	講義概要(150字)	講義日	教室	講師名	所属	
企業経営と品質マネジメント(製品品質から業務品質)	1	品質マネジメントシステム(1)	国際規格ISO9001に基づき、品質マネジメントシステムの全体像及び導入企業における現状を解説する。	11月14日	UL Japan セミナー ルーム	小峰 豊	UL Japan	
	2	品質マネジメントシステム(2)	品質マネジメントシステムの中心となるプロセスアプローチなど、業務に見える化するための考え方、その解決方法などについて解説する。	11月17日				
	3	品質マネジメントシステム(3)	品質マネジメントシステムを活用できる組織と活用できない組織の違いや、企業環境の変化に対応して業績を維持するための品質マネジメントの確立などについてするのか、事例を紹介しながら解説する。	11月21日				
企業経営と環境マネジメント(環境経営と現状)	4	環境マネジメントシステム(1)	国際規格ISO14001に基づき、環境マネジメントシステムの全体像及び導入企業における現状を解説する。	11月24日		UL Japan セミナー ルーム	大杉 雅昭	UL ASG Japan
	5	環境マネジメントシステム(2)	ISO14001の基本的な考え方、及びそれを活用した環境マネジメントシステムと企業経営の融合について、そのあり方を解説する。	11月28日				
	6	環境マネジメントシステム(3)	環境経営の事例に基づき、現状の課題と今後のあり方について解説する。	12月5日				
企業リスクと事業継続マネジメント	7	事業継続マネジメントシステム(1)	企業リスクとは何か、事業継続リスクはどんなリスクなのかについて解説する。	12月12日	UL Japan セミナー ルーム	大杉 雅昭	UL ASG Japan	
	8	事業継続マネジメントシステム(2)	事業継続マネジメントシステムの策定経緯、事業継続マネジメントの原理・原則を解説する。	12月19日				
	9	事業継続マネジメントシステム(3)	事業継続マネジメントシステムを導入し、活用している企業の事例を考察する。	1月16日				
企業の社会的責任(SR規格の概要)	10	企業の社会的責任(1)	企業におけるマネジメントにおいて、昨今注目を集める社会的責任に関して、社会的ニーズ、海外での動きなどその概要を解説する。	1月23日	UL Japan セミナー ルーム	佐久間 洋一	UL Environment	
	11	企業の社会的責任(2)	社会的責任に関するアプローチに関するISO26000、人権にかかわるSA8000、そしてUL規格であるULE880について、その違いやそれぞれの狙いを解説する。	1月30日				
	12	企業の社会的責任(3)	ISO26000の活用例、そしてULE880を企業マネジメントに活用する事例を紹介し、考察する。	2月6日				
情報セキュリティと企業マネジメント	13	情報セキュリティマネジメント(1)	企業として守るべき情報とはどんなものか、その仕組みであるセキュリティとはどんなことかについて解説する。	2月13日	UL Japan セミナー ルーム	岩切 弘道	UL ASG Japan	
	14	情報セキュリティマネジメント(2)	企業における情報を適切に取扱うためのアプローチについて、業務に重ねたセキュリティの考え方を解説する。	2月20日				
	15	情報セキュリティマネジメント(3)	企業マネジメントの一環として、情報セキュリティを保つための工夫を、最近の事例を紹介しながら解説する。	2月27日				